

俳優

ひかる一平さんインタビュー

芝居を通して地元、大田に貢献

大田出身とのことですが

大田区生まれ、山王小学校・大森第三中学出身で現在も大田区に住んでいます！

ジャニーズに入られたきっかけを聞かせてください

姉が勝手にジャニーズに応募したんです。そうしたら事務所から電話があつて、それをきっかけに芸能活動が始まったんです。すぐに当時大人気のドラマ「3年B組金八先生」のオーディションに行くように言われて最終審査に残って、16歳で俳優としてデビュー、さらに歌手としてもデビューしました。

その後、「必殺仕事人」で三田村邦彦さんに仲良くしてもらい、アドバイスを受けて、本格的に芝居をやっているところと歌もやめ、事務所も変えて、それから芝居一筋でやってきました。

ご両親はどんなかたでしたか？

父は何事にもきちんとした人でしたし、母は料理のうまい優しい人でした。ある時、インタビューで母の料理のことを聞かれ、ちょうど反抗期の時期もあつて「母の料理はまずいです！」と答えたら、後々まで母はそのことを気にしていました。母が亡くなる十年前位まで長いこといろいろな心配や迷惑をかけたし、いつか親孝行をしようとは思っていました。

ご両親の介護を14年間されたそうですね

当たり前のことですが、先祖がいて親がいて、今の自分があるとしみじみ感じるんです。だから自然に、親の面倒を見るのが当然と思うようになっていました。

母は、半身不随で療養していた時「みんなに迷惑をかけるから早く死にたい」

プロダクションを新しく立ち上げるきっかけはどのようなことでしたか？

とよく言っていたのですが、がんばって介護している父と僕の気持ちを感じてくれて、最後はとても喜んでくれました。両親あわせて14年間介護をしたおかげで、家の事は何もできなかった僕が、洗濯も料理も掃除も、家事全部を自分でやるようになりましたね。孫の顔が見たいと言っていた母に、亡くなる2カ月前に孫を抱かせることができたのも親孝行かなと思っています。今でも気持ちが行き詰まった時、「母に話したいな。夢に出てこいよ」と思うのですが両親とも夢に出てきませんね。きっと満足して逝ったのでしょう。

30代の頃、子役スクールの知り合いから「講師をしてくれないか」と声がかかったんです。初めは、スキルもないし、演じる仕事の役者が教えるようになってからおしまいかなど思っていました。ところが始めたところから、3カ月の約束で教えることにしたんです。ところが始めたところから、子どもたちの一生懸命さに教えられることが多く、気がつけば9年間も続けていました。子どもたちの才能を伸ばすために、関わり続けることの大切さ、こちらが押しつけていけば相手の才能は必ず開く



ひかる 一平

(株)スカイアイ・プロデュース代表
1980年に俳優デビュー、翌年歌手デビュー。その後俳優業に専念し、TVドラマ・映画・舞台と数多くの作品に出演。2003年より数多くの経験を生かし、子どもタレントを養成するプロダクションの講師を9年間務める。

堀田 秀吾

(株)スカイアイ・プロデュース取締役
明治大学教授。シカゴ大学言語学部博士課程修了。言語学者。「明治一受けたい授業」に選出されるなど学生からの信頼も厚い。著書多数。

スカイアイ・プロデュースホームページ
<http://www.skyiproduce.com/>